

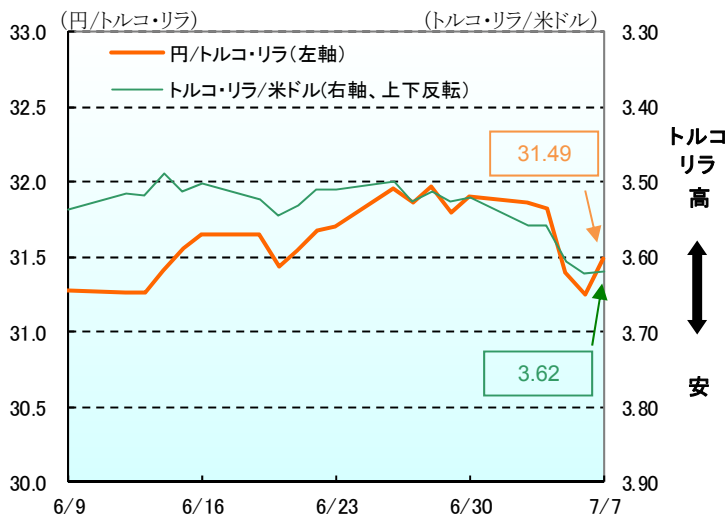
トルコの金融市場動向 Weekly Report

【2017年7月1日～2017年7月7日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は1週間を通してみると対米ドル、対円で下落となりました。またトルコの2年国債金利については1週間を通してみると金利上昇となりました。6月の消費者物価指数については、市場予想を下回る伸びとなり、前年同月比でみると2カ月連続での鈍化となりました。食料品価格が落ち着きを見せていることに加えて、原油価格の下落などがインフレの鈍化に寄与しています。トルコ金融市場では、先進国の金融政策への思惑などが、相場を動かす材料となりました。

【トルコ・リラ 為替推移】 (2017年6月9日～2017年7月7日)



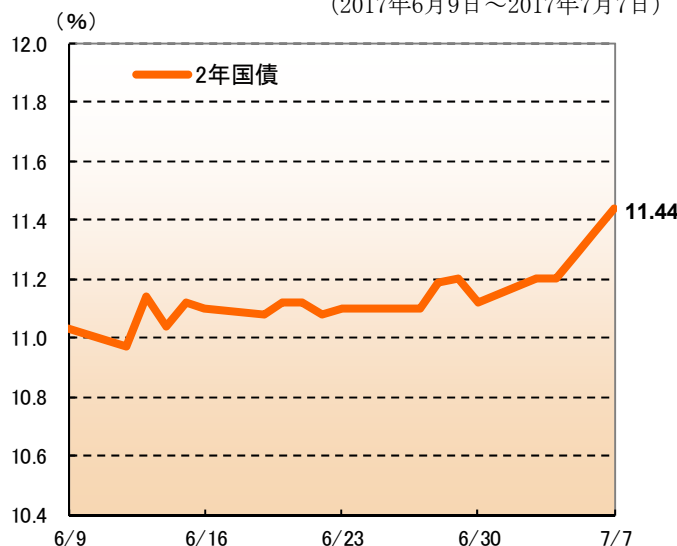
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

今週は5月の経常収支の発表が予定されています。6月分の消費者物価指数についても鈍化傾向がみられたことから、次回の金融政策決定委員会で、インフレ見通しが改善するまで引き締め的な金融政策を維持するとしているトルコ中央銀行が、金融緩和に着手するかが注目されます。また、引き続きサウジアラビアなどとカタールの間では緊張が高まっており、突然の地政学リスクの高まりには注意が必要な環境が続くと予想します。

【トルコ 金利推移】

(2017年6月9日～2017年7月7日)



(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>